

2016年3月18日（金曜）

全労金2016春季生活闘争ニュース・第14号

すべての組合員で確立した「要求」に
自信と誇りを持ち、連帯した闘いを進めよう！

◎第3回全国書記長会議を開催しました！

3月17日、全労金は、前日の中央闘争委員会に続いて、全単組の書記長参加の下、第3回全国書記長会議を開催し、単金単組における交渉状況を共有することとあわせて、今後の交渉に向け、金庫の主張等に対する労働組合の考えや、「ジョブリターン制度」「積立休暇制度」の具体的な制度設計等について意見交換しました。

単金単組における交渉状況では、労働組合の要求に対して、真摯に検討している金庫と、日銀の金融緩和策（マイナス金利）や金庫の収益シミュレーション等を理由として厳しい姿勢ばかりを示している金庫に大別されています。

金融機関全体を取り巻く環境や、労働金庫の収益構造を踏まえた環境の厳しさは、全国共通であるにも関わらず、金庫の姿勢に違いがあるのは、経営陣が労働組合の要求をどのように受け止めているのかの違いです。私たちの要求は、全労金・単組に結集するすべての組合員の総意で確立しており、闘争委員会や交渉メンバーだけの考えではありません。労金業態を取り巻く環境が厳しいことは、現場で働いている職員・組合員が誰よりも理解しています。だからこそ、金庫・経営陣は、すべての組合員の総意で確立した要求に対して、真摯に向き合った上で、厳しい環境を乗り越えるためにも、職員・組合員が“前を向いて2016年度の業務を遂行する”という意欲に繋がるメッセージを発信する責任があります。職場では、単組速報等を全組合員で注視し、金庫・経営陣がどのような姿勢で交渉に臨んでいるのかを共有し、単組闘争委員会への激励等、「一致団結」した闘いを進めましょう。

◎全国の仲間から届いた「檄布」を職場の労組掲示板等に掲げよう！

3月4日の統一要求提出日に開催した「一斉職場集会」で作成した「檄布」が、それぞれの職場に到着した際は、職場の労組掲示板や休憩室等に掲げ、全国の仲間との連帯・共闘・支援を意識した「行動（※職場集会の開催や単組速報の読み合わせ等）」を展開しましょう！

※ 全労金ホームページでは、最低賃金の協議等を随時、更新しています！

www.zenrokin.or.jp もしくは、全労金で検索を！

※ 次号は3月22日（火）に配信予定です。

以 上